

〔正賞 学術文化部門〕

ともなが・まさお

1. 氏名 朝長 万左男氏
2. 年齢 81歳
3. 肩書 長崎大学名誉教授
日赤長崎原爆病院名誉院長
恵の丘長崎原爆ホーム診療所所長
4. 住所 長崎市

※年齢は2024年11月3日時点



【受賞理由】

2歳のときに長崎で被爆。長崎大学在職中より原爆後障害研究所の所長を勤めるなど、被爆者医療に長年関わり、白血病等の血液疾患の疫学的研究や発症メカニズムの解明に多大な貢献をしてきた。長崎大学退任後も日本赤十字社長崎原爆病院の院長や恵の丘原爆ホーム診療所の所長として、継続的に被爆者医療に携わっている。1985年にノーベル平和賞を受賞した核戦争防止国際医師会議（IPPNW）の国際理事を務め、現在は日本支部副会長。2019年からは長崎県被爆者手帳友の会会長としても活動している。2022年6月にはオーストリア・ウィーンで開催された核兵器禁止条約第1回締約国会議に参加、2023年には核兵器廃絶の機運を高めるため、被爆者の体験や思いを世界中の人々に直接語る「ヒバクシャ・ミライ・プロジェクト」として米国3都市で被爆証言に取り組んだ。「核兵器のない世界」に向けた国際賢人会議や核兵器廃絶地球市民長崎集会実行委員会などのメンバーとして、核兵器廃絶を目指す長崎の活動をリードしている。

【主な役職と受賞歴】

1968年	長崎大学医学部卒業
1990年	長崎大学医学部教授、原爆後障害医療研究所治療部門（原研内科）
2002年	日本臨床血液学会会長
2006年	長崎大学大学院医歯薬総合研究科長
2009年	日本赤十字社長崎原爆病院院長
2012年	日本癌学会功労賞 長崎新聞文化章
2014年	日本赤十字社長崎原爆病院名誉院長、恵の丘長崎原爆ホーム診療所所長
2022年	瑞宝中綬章
2023年	日本血液学会功労賞